

# タイ王国男子バレーボール ナショナルチームがキャンプを実施



8月14日から21日まで、タイ王国男子バレーボールナショナルチームの24人が市内でキャンプを行い、串良平和アリーナなどでのトレーニングや市民との交流が行われました。タイ王国代表チームのキャンプは、昨年7月の女子バレーボールナショナルチームに続き2度目のこと。市はタイ王国の東京2020大会のホストタウンとして、今後もタイ代表チームのサポートとタイ王国との交流を進めていきます。 問市地域活力推進課 Tel.0994-31-1147 問市民スポーツ課 Tel.0994-31-1139



8月14日、市役所に到着した背の高い男性の集団。訪れたのは、タイ王国男子バレーボールナショナルチームです。職員らの歓迎を受け、代表チームのピティ・チャンタラ団長から「温かく迎えていただき、鹿屋の人の気遣いや優しさを感じました」と謝意が述べられました。歓談の際には、選手から笑みがこぼれるなど和やかな場面も。また、市から記念品として、鹿屋女子高校書道部の皆さんが選手一人ひとりの名前を書いた扇子が贈呈されました。

18日、鹿屋体育大学のスポーツパフォーマンス研究センターで、腹筋やメデイシンボル投げ、数種類の測定機器を使って各選手の動きをデータ化。選手たちは最新鋭の技術に驚きつつも、測定結果に確かな手応えを感じていました。

そして8月20日、串良平和アリーナで公開練習のほか、鹿児島県団体成年男子選抜チームとのテストマッチが行われ、会場に集まった観客約300人がその熱戦を見守りました。試合ではナショナルチームの高さを生かしたプレーが観客らを魅了。試合後、選手たちは子どもたちとの記念撮影に気さくに応じるなど、市民との交流が行われました。

バレーボールに留まらず、教育・文化・経済など多方面で、鹿屋市とタイ王国との交流は、これからも続いています。



タイ王国男子バレーボール ナショナルチーム  
サラ=シット・チャルンスック 主将



「鹿屋は過ごしやすい気候で、食事もおしかったです。設備の質が良く、充実したキャンプを送ることができました。機会があれば、また鹿屋を訪れたいです。」



祓川小バレーボールスポーツ少年団  
むらやま かなみ  
村山 佳奈美 さん (東原小6年)

「タイ代表の選手はとても背が高く、特に真下に打つスパイクがすごかったです。また、気さくで優しい人たちでした。もっと深く知るために、タイに行ってみたいです。」